astraJLPT Editorial

問題用紙

(2 0 0 8 - 1 2)

1 級

文字・語彙

(100点　45分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で9ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 I　次の文の下線をつけた言葉は、どのように読みますか。最も適切な読み方を、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　大幅(1)に削減(2)された予算の枠内(3)でそのプランを成功させるため、いろいろと工夫(4)を重ねている。

(1) 大幅	1	だいはば	2	だいふく	3	おおはば	4	おおふく
(2) 削減	1	しょうげん	2	しゅくげん	3	けいげん	4	さくげん
(3) 枠内	1	すいない	2	そつない	3	わくない	4	いきない
(4) 工夫	1	こうふ	2	こうふう	3	くふう	4	くうふう

問 2　その邸宅(1)の客間には、華やか(2)な色彩(3)の絵や彫刻(4)が飾ってある。

(1) 邸宅	1	ていたく	2	したく	3	でいたく	4	じたく
(2) 華やか	1	あざやか	2	はなやか	3	おだやか	4	さわやか
(3) 色彩	1	しょくざい	2	しょくさい	3	しきざい	4	しきさい
(4) 彫刻	1	しゅうこく	2	しょうこく	3	ちゅうこく	4	ちょうこく

問 3　先生に倣って(1)、子どもたちは袋を縫ったり(2)、布を裂いて(3)ひもを作ったりした。

(1) 倣って	1	ならって	2	たよって	3	したがって	4	ともなって
(2) 縫ったり	1	おったり	2	つったり	3	はったり	4	ぬったり
(3) 裂いて	1	さいて	2	といて	3	ほどいて	4	やぶいて

問 4　他人を侮辱(1)するような行為(2)をすれば、訴訟(3)を起こされ、償い(4)を求められることもある。

(1) 侮辱	1	かいじょく	2	かいしょく	3	ぶじょく	4	ぶしょく
(2) 行為	1	こうぎ	2	こうい	3	ぎょうぎ	4	ぎょうい
(3) 訴訟	1	そしょう	2	せっしょう	3	そこう	4	せっこう
(4) 償い	1	つきあい	2	つぐない	3	あつかい	4	あらそい

問題 Ⅱ　次の文の下線をつけた言葉は、ひらがなでどう書きますか。同じひらがなで書く言葉を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　この建物は構造に欠陥がある。

1　血管　　2　結成　　3　決行　　4　傑作

(2)　この会の趣旨を知りたい。

1　数詞　　2　終始　　3　出資　　4　種子

(3)　さまざまな規則を緩和して、もっと自由にしたほうがいい。

1　談話　　2　漢和　　3　神話　　4　温和

(4)　あの人はすばらしい生涯を送った。

1　正解　　2　性格　　3　障害　　4　小額

(5)　両チームの力が均衡していて、どちらにも点が入らない。

1　緊張　　2　近郊　　3　金賞　　4　勤労

問題 Ⅲ　次の文の下線をつけた言葉は、どのような漢字を書きますか。その漢字を、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

問 1　彼は他人に対するかんようさ(1)と、人からのしてき(2)に耳をかたむけるけんきょさ(3)(4)を持っている。

(1) かんようさ	1	歓容さ	2	寛容さ	3	歓溶さ	4	寛溶さ
(2) してき	1	支的	2	支摘	3	指的	4	指摘
(3) かたむける	1	傾ける	2	項ける	3	肩向ける	4	方向ける
(4) けんきょさ	1	堅拠さ	2	謙拠さ	3	堅虚さ	4	謙虚さ

問 2　この店にはピンクやむらさき(1)のはで(2)なもよう(3)の服が多い。

(1) むらさき	1	紫	2	柴	3	紺	4	柑
(2) はで	1	派出	2	波出	3	派手	4	波手
(3) もよう	1	紋葉	2	紋様	3	模葉	4	模様

問 3　社員は要求をかじょうがき(1)にし、けっそく(2)してたいぐう(3)改善を会社に求めた。

(1) かじょうがき	1	箇条書き	2	箇状書き	3	固条書き	4	固状書き
(2) けっそく	1	決束	2	決則	3	結束	4	結則
(3) たいぐう	1	待偶	2	待遇	3	対偶	4	対遇

問 4　最新の技術がロケットの開発にいりょく(1)をはっき(2)した。

(1) いりょく	1	異力	2	威力	3	違力	4	維力
(2) はっき	1	発気	2	発起	3	発揮	4	発機

問 5　天災があいついで(1)いるため、市は人々がちつじょ(2)正しくひなん(3)できるよう訓練を行っている。

(1) あいついで	1	合着いで	2	合次いで	3	相着いで	4	相次いで
(2) ちつじょ	1	扶序	2	扶助	3	秩序	4	秩助
(3) ひなん	1	避難	2	非難	3	避離	4	非離

問題Ⅳ　次の文の下線をつけた言葉の二重線（＝）の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（例）　国会ではしつぎが行われていた。

1　祖母は私にれいぎや作法を教えてくれた。

2　ぎせいしゃは、数十人にのぼるという。

3　その件は現在しんぎ中だ。

4　ぎわくをまねくようなことはするな。

例の文の＿＿＿の言葉は「質疑」と書きます。1から4の言葉はそれぞれ、1は「礼儀」、2は「犠牲者」、3は「審議」、4は「疑惑」と書きます。例の文の「質疑」の「疑」と、4の「疑惑」の「疑」は同じ漢字ですから、答えは4です。

（解答用紙）

（例）	① ② ③ ●

(1)　国の(はん)えいのために力を尽くす。

1　この植物は高山に多く(はん)しょくしている。

2　彼に対するひ(はん)の声があがっている。

3　彼女は自動車の(はん)ばいをしている。

4　多くの人々はその会社のき(はん)にしたがって生きている。

(2)　このカメラは、とてもせい(こう)にできている。

1　薬の(こう)かが出てきた。

2　なかなか(こう)みょうな手段を考えたものだ。

3　この国は、てっ(こう)の生産量で世界一になった。

4　彼の意見はいつもきょう(こう)だ。

(3)　大臣が新しい空港をしさつした。

1　(し)きゅう、現状を知らせてほしい。

2　(し)ぶつはロッカーにしまっておいてください。

3　(し)めいかんを持って仕事をしている。

4　私はきん(し)なので眼鏡を掛けている。

(4)　この部屋は空気が(かん)そうしている。

1　しん(かん)せんに乗ってみたい。

2　この建物はがい(かん)はいいが、中はあまりよくない。

3　(かん)ぱいを致しますので、グラスをお持ちください。

4　他人のことには(かん)しょうしないほうがよい。

(5)　弟は音楽の(そ)しつがある。

1　外国語学習は特にき(そ)が大事だ。

2　この事件には多くのよう(そ)がからんでいる。

3　山奥の村ではか(そ)の問題に悩んでいる。

4　日本人の(そ)せんはいろいろな地域から来たらしい。

問題 V　次の文の＿＿＿の部分に入れるのに最も適切なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　試験の後で問題用紙も＿＿＿します。

1　没収　　2　領収　　3　徴収　　4　回収

(2)　依頼されても無理なことなら＿＿＿断ったほうがいい。

1　じっくり　　2　げっそり　　3　きっぱり　　4　くっきり

(3)　我が社もこれからの時代に対応すべく、経営を＿＿＿するべきだ。

1　革新　　2　革命　　3　改修　　4　改訂

(4)　これはきびしい意見かもしれませんが、＿＿＿言わせていただきます。

1　かつて　　2　あえて　　3　まして　　4　せめて

(5)　彼は、政府は経済活動に＿＿＿しすぎてはいけないと考えている。

1　侵入　　2　潜入　　3　加入　　4　介入

(6)　教師の努力により生徒の学力が＿＿＿した。

1　偏向　　2　向上　　3　進化　　4　推進

(7)　彼女は重大な秘密を私に＿＿＿。

1　はたした　　2　つくした　　3　あかした　　4　すました

(8)　エネルギーの確保は多くの国で＿＿＿な問題になっている。

1　迅速　　2　厳重　　3　極端　　4　切実

(9)　説明書の＿＿＿のとおりにやれば、だれでも簡単にできる。

1　手数　　2　手順　　3　手芸　　4　手配

(10)　彼は初めて会った人にも＿＿＿接する。

1　なれなれしく　　2　けがらわしく　　3　みすぼらしく　　4　いちじるしく

(11)　彼女の話はおもしろいが、＿＿＿があるので、どこまで本当かわからない。

1　拡大　　2　膨張　　3　拡散　　4　誇張

(12)　その選手は小柄だが、相手に向かっていく＿＿＿があるよい選手だ。

1　タイミング　　2　ベスト　　3　ファイト　　4　フォーム

(13)　社員の仕事に対する＿＿＿を高めるためにはどうすればよいだろうか。

1　意地　　2　意欲　　3　意義　　4　意図

(14)　ねずみが＿＿＿動き回るので、捕まえるのが大変だった。

1　すばしこく　　2　とうとく　　3　なまぐさく　　4　ひさしく

(15)　あの人は生け花の＿＿＿があります。

1　心得　　2　心理　　3　心掛け　　4　心構え

問題 Ⅵ　次の(1)から(5)の＿＿＿の言葉の意味が、はじめの文と最も近い意味で使われている文を、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　乗る……時代の波に乗り、あっという間に人気作家になった。

1　友人が私の相談に乗ってくれた。

2　勢いに乗って、優勝した。

3　売り上げが10万円台に乗って、ほっとした。

4　面白そうなので、その話に乗ってみた。

(2)　詰める……そのプランはとても面白そうなので、もう少し詰めてみよう。

1　ちょっと席を詰めていただけませんか。

2　ズボンの丈が長いので、少し詰めてもらった。

3　明日は一日会社に詰めておりますので、いつでもお電話ください。

4　問題点を詰めてから、もう一度ご連絡致します。

(3)　駄目……私はスポーツは駄目なんです。

1　数学は学生時代から駄目で、今でも苦手だ。

2　ここでたばこを吸っては駄目ですよ。

3　彼にはいくら頼んでも駄目だった。

4　長雨のせいで、せっかく育てた野菜も駄目になってしまった。

(4)　のびる……会議が1時間のびたので、サッカーの試合を見にいけなくなってしまった。

1　医学の進歩によって、年々、寿命がのびている。

2　予定が変わって、出発が明日にのびた。

3　その会社は、ここ数年売り上げがのびている。

4　しばらく会わないうちに、背がのびたね。

(5)　軽い……健康のために、毎日軽い運動をすることにしている。

1　新製品は、これまでのものより軽くて便利です。

2　あの人は口が軽くて困ります。

3　ちょっとおなかがすいたので、軽く食事でもしませんか。

4　心配していたことをみんなに話したら、気持ちが軽くなった。

問題 Ⅶ　次の(1)から(5)の言葉の使い方として最も適切なものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)　昇進

1　エスカレーターで3階に昇進した。

2　煙が空に昇進している。

3　山川さんは先月課長に昇進しました。

4　息子は去年高校を卒業し、大学に昇進しました。

(2)　へりくだる

1　彼はだれに対してもへりくだった話し方をする。

2　子どものころ、登った木からへりくだれなくて困ったことがある。

3　川沿いをへりくだる道を歩いて行った。

4　何度も頭をへりくだって謝った。

(3)　忠実

1　その計画はきちんと忠実するように努力します。

2　それが彼の忠実の姿です。

3　忠実と説明したので、質問はあまり出ませんでした。

4　これは事実を忠実に再現したドラマです。

(4)　指図

1　間違いを指図してくだされば、すぐ直します。

2　講演では、グラフを指図して説明した。

3　あそこで、あれこれと指図している人が社長です。

4　ペンがなかったので、わからない字を指図して教えてもらった。

(5)　とっさに

1　とっさに用事ができてしまい、パーティーに出席できなかった。

2　転びそうになったので、とっさに隣の人の腕をつかんだ。

3　夕方からとっさに雨が降り出した。

4　昨日は友達と会う予定があったので、仕事が終わるととっさに帰りました。

astraJLPT Editorial

問題用紙

(２００８－１２)

１級

読解・文法

(200点　90分)

注　意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持ち帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じようにはっきりと書いてください。
4. この問題用紙は、全部で20ページあります。

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

原本の表紙は未回収です。この表紙の様式・配点・時間は同級の参考資料から推定した編集版です。

問題 Ⅰ　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは、1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

秋に入ると学校では、読書週間という奇妙な週①がやってくる。普段は図書館に足を踏み入れもしない子どもたちが、みんな指定の図書を探して、嫌々やってくるのを僕は不思議に眺めていた。読みたくない本を読んで感想文を書け、と先生から指令がくだるのだ。

先生に言われなくても、僕は昔から本の虫だった。読書週間の標語を読むと、「読書は世界の見える窓」「本は心の栄養」などと利益を謳った文句が並んでいる。先生は、読書をする子はよい子で、頭がよくなると自信を持って勧めていた。頭をよくするのは教育者の仕事だ。その義務を忘れて本に子どもを教育してもらおうとするのは怠惰(注1)な職務放棄にすぎない。僕は一発(注2)でこの先生の能力を疑った。

僕は所謂アタマのいい子だった。子どものしがちな無茶なことはせず、大人の命令に逆らわない従順(注3)な児童だった。教室の壁には誰が何冊本を読んだか、という営業マン(注4)のようなグラフが作成され、能力を競っていたように思う。馬鹿馬鹿しいと嗤っていると白羽(注5)の矢が僕に刺さった。

「彼は本を読むから成績がいいんです！」

先生は僕を象徴にして読書を推進しようとしている。それは②大きな間違いだ。僕の成績がよかったのは普段真面目に授業を聞いているからだし、きちんと家で勉強していたからだ。他の小学生はのびのびと育っていて、誰も勉強などしないから、差が出るのは当然のことだった。(注6)

読書をすれば賢くなるという幻想(注7)は、どうして出来上がったのだろうか。僕はその誤解の根源(注8)を子どもたちに見た。いつも図書館に現れない子どもは無理に広げた本を前に煩悶(注9)しているではないか。これはほとんど拷問(注10)に近いものがある。（　③　）彼らは勉強の姿勢で本を読んでいるのだ。こんな読み方では楽しくないだろう。

本の楽しみとは、ここではないどこかに飛んでいける冒険につきる。旅行の楽しみと読書は近いものがある。僕は本で冒険をし、知らない世界に旅をした。

（中略）

人は誰もが「もうひとつの世界」を夢みる。新しい環境、新しい政治、新しい自分、誰もが現実の中に小さな違和感(注11)を抱えて、変化を望み、そしてこの現実は簡単に変わることがないと諦めている。そんなとき最も安価で確実な変化をもたらしてくれるのが、読書なのだ。

読書とは教育ではなく、世知辛い(注12)現実を捨てて、豊かな世界に耽ってしまう人の性(注13)であり、現実を忘れさせる合法的な麻薬(注14)である。

「彼らはまだ勉強をする義務がある。子どもに本の味を教えるのはちょっと早いかもしれない」と言う大人がいないのが残念である。

（池上永一『やどかりとペットボトル』による）

（注１） 怠惰（たいだ）な：するべきことを怠けてしない

（注２） 一発で：この一回のことで

（注３） 従順（じゅうじゅん）な：指示に素直に従い行動する様子

（注４） 営業マン：営業を担当する社員

（注５） 白羽（しらは）の矢が刺さる：多くの人の中から特に選ばれる。普通「白羽の矢が立つ」と言う。

（注６） のびのびと：自由に

（注７） 幻想（げんそう）：ここでは、誤った理解や考え

（注８） 根源（こんげん）：もともとの起こり

（注９） 煩悶（はんもん）する：深く悩み苦しむ

（注10） 拷問（ごうもん）：体に苦痛を与えたりしてひどく苦しませること

（注11） 違和感（いわかん）：自分の気持ちや感覚に合わない感じ

（注12） 世知辛（せちがら）い：暮らしにくい

（注13） 性（さが）：生まれたときから持っている性質

（注14） 麻薬（まやく）：習慣性があり使い続けると中毒になる物質

問１ ①「読書週間という奇妙な週」とあるが、どうして奇妙なのか。

1　いつもは図書館に来ない子どもたちが図書館で好きな本を読むから

2　本を読めば世界のことがよくわかったり心が豊かになったりするから

3　先生が推薦した本を学校の図書館で探して読まなければならないから

4　子どもの気持ちを大切にせずに無理に本を読ませようとするから

問２ ②「それ」とは何か。

1　読書週間という名のもとに、子どもたちに無理に多くの本を読ませようとすること

2　どれだけたくさんの本が読めるか、営業マンのようなグラフを使って子どもたちに競争させること

3　先生の話を真面目に聞いて家でもきちんと勉強しているから、筆者の成績がいいこと

4　本を読むから成績がいい例として筆者を挙げ、他の子どもたちにもっと本を読ませようとすること

問３　小学生の時の筆者はどのような子どもだったか。

1　先生を信じることができず、空想の世界に遊ぶ子ども

2　先生を尊敬し、ひたすら先生の教えを実践する子ども

3　先生を心の底で馬鹿（ばか）にしているが、一見従順（じゅうじゅん）な子ども

4　先生に従い、空想と現実を混同しない理性的な子ども

問４　筆者は何のために本を読んでいたのか。

1　知らない世界を味わうため

2　学校でいい成績を取るため

3　賢くなり現実を楽しむため

4　勉強する義務を果たすため

問５　（　③　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　しかし　　2　ゆえに　　3　ただし　　4　つまり

問６　読書と旅行が似ている点は何か。

1　新しい経験をしていろいろな利益が得られること

2　日常生活から離れてわくわくすることができること

3　行ったことがない所に実際に行くことができること

4　いつでもどこでも楽しみたいことが楽しめること

問７　筆者は読書週間についてどう考えているか。

1　読書週間にはいろいろな本を読んだほうがいい。

2　読書週間を本当の読書のための週にすべきだ。

3　読書週間のような週があってもあまり意味がない。

4　読書週間は今実施されている期間ではあまり効果がない。

問８　本文の内容に合っているのはどれか。

1　読書は、子どもに事実を教えてくれるものである。

2　読書は、子どもの時からの習慣が影響するものである。

3　読書は、現実の理解のためにするものである。

4　読書は、自分から好きな本を楽しむものである。

問題 Ⅱ　次の(1)から(3)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) カナダの作曲家シェーファーは、音環境をサウンドスケープという視点から捉(とら)えることを提唱(ていしょう)(注1)し、運動を展開している。サウンドスケープは“音の風景”と訳すことができるだろうが、これは、都市空間をはじめ、あらゆる環境の中で不愉快な雑音が我々の生活を害するようになった現在、音環境を含めて生活のすべての面で快適性を高めたいという社会的ニーズ(注2)の表れであろう。

日常生活を妨げる音をできるだけ防止するために、その場・時間・状況に応じて適切な環境音楽が流されている。環境音楽は、快適性を音環境の中に取り入れたものといえる。現代の文明は騒音をますます増大させているが、同時に最新の技術によって発生騒音を少なくする努力も大いになされるだろう。

しかしながら、我々は生活の中で、環境音楽と考えてかえって不必要な音や音楽を流しすぎていないだろうか。いや、たれ流しているといってもいいぐらいだ。ドイツの大指揮家カール・ベームは、筆者も何回となく来日の折に聴(き)いているが、ある時東京のデパートのエレベーターに乗り、そこに流れていたドイツの古典音楽を聞いて非常に憤慨したそうである。いとも(注3)安易にクラシック音楽が東京の町中に氾濫(はんらん)していることにベームは業(ごう)(注4)を煮やしたのだろう。遠山一行(とおやまかずゆき)さんのような批評家がいう「クラシック音楽は他者との出会い」という厳しいストイックな見方(注5)と現実は大きく違ってしまい、我々はあまりにイージーに音楽を氾濫させていると筆者は思う。(注6)そして、それが非常に商業主義と結びついていることが多いと筆者は危惧(きぐ)しているのである。(注7)

（江口文陽・尾形圭子・須藤賢一『生活環境論』による）

（注１） 提唱(ていしょう)する：自分の意見や考えを人々に示して呼びかける

（注２） ニーズ：必要性

（注３） いとも：大変、非常に

（注４） 業(ごう)を煮やす：思うように行かず、腹を立てる

（注５） ストイックな：欲求や楽しみをあえて抑える様子

（注６） イージーに：安易に

（注７） 危惧(きぐ)する：心配する

問１　カナダの作曲家シェーファーの展開する運動とはどのような運動か。

1　都市空間に美しい風景をイメージさせる音楽を流し、生活環境を向上させる。

2　カナダの作曲家が始めたサウンドスケープという運動に基づいて音環境を作り上げる。

3　生活の快適性を高めるために、環境音楽などを用いて音環境を整える。

4　場所、時間、状況に応じて、適切な環境音楽としてクラシック音楽を流す。

問２　本文によると、環境音楽とはどのようなものか。

1　日常生活の不快な音をさえぎるために流されているもの

2　豊かな自然に囲まれた環境の中で聞くことができるもの

3　筆者が日常生活の中で安易に聞かされているもの

4　現代文明が作り出した環境の中から自然に生じたもの

問３　「厳しいストイックな見方」とはどのような見方と考えられるか。

1　外では音楽を全く流さず、他人が不愉快にならないよう配慮する。

2　クラシック音楽を聴くには、ふさわしい時と場を選ぶ必要がある。

3　増大しつつある騒音は、種々の音楽を流すことで緩和するべきだ。

4　日常生活を妨げる騒音は、社会にあってはならないので排除する。

問４　筆者はこの文章を通して何を批判しようとしているのか。

1　「クラシック音楽は他者との出会い」という見方が広がること

2　日常生活の騒音を減少させようとするより環境音楽でそれを隠そうとすること

3　商業主義と結びついて安易に音楽を町中に氾濫（はんらん）させること

4　環境音楽を流しすぎてかえって町中の騒音を増大させること

（2）家事労働は、やってみると案外と簡単なものだ。嘘だと思う男性諸君は、一度やってみるといい。今はいい洗剤があるから皿洗いは楽だし、研（と）いだ米に分量の水を入れて、スイッチを押せば自然に炊きあがる電気炊飯器（すいはんき）という便利な器械もある。やる気になれば男だって一人で飯をつくり、暮らして行けないことはない。

わが家は、妻が毎日仕事に出かけ、僕は家で仕事をしているから、生活のパターンがふつうのサラリーマン家庭とは逆になっている。

そうは言っても、仕事から帰って来た妻が食事を作り、後片付けもしていた。それを見て、大変そうだなと思い、後片付けくらいはしてやるよと気軽に台所に立ってみた。ところが、やってみると案外に楽しかった。汚れた食器が次々にきれいになっていくのはなかなか気持ちのい

いものだ。わずか10分か15分で、ひと仕事終えたという労働の充実感も味わえる。この、ひと区切りつくというのが家事労働の面白いところかもしれない。

60歳を過ぎた僕がこんなことを言うと、同年輩(どうねんぱい)の亭主(ていしゅ)(注1)族からはなんと甘っちょろい(注2)と思われるかもしれない。20代30代からは、なんで今さらそんなことに気づいたのだと言われそうだ。

「最近の女性は耐えるということを知らない」などと世間では言っている。確かに昔に比べると、我慢するということが少なくなったようだが、これは（　　）ことだと思う。

昔の女性が我慢していたのは、経済力がなくて夫に養われているという意識があったからだろう。今は、仕事を持ったりパートタイム(注3)で働いたりして、ちゃんと収入を得られるようになった。しかも、亭主が汗水たらして働いていても、たいして高い給料をもらっているわけではないのだという現実もわかってくる。

（中略）

わが家の場合、今の若夫婦のように、権利だ義務だと分けて、家事を分担しているのではない。なんとなくそういう具合になっている。とはいえ、サラリーマンを続けていたら、なんとなくそういう具合にはならなかっただろう。

権利だ義務だというのは、押しなべて(注4)世間に広がらなくてはならない決まりである。家庭にそんなものはいらない。家庭にあるのは流儀(りゅうぎ)(注5)だろう。サラリーマンにはサラリーマンの家庭の、わが家にはわが家の流儀がある。

おおまかであって、伸縮(しんしゅく)自在だけれども、ひとつの流れになっているという曖昧(あいまい)な流儀(りゅうぎ)が、おおまかな僕には似合っている。

（常盤新平『ベストパートナー―「夫婦」という名の他人』による）

（注１）亭主(ていしゅ)：夫

（注２）甘っちょろい：考えが甘い

（注３）パートタイム：正規の雇用ではない短時間の労働

（注４）押しなべて：全体にわたって

（注５）流儀(りゅうぎ)：物事のやり方、手法

問１　（　　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　つまらない　　2　いい

3　おどろくべき　　4　よくない

問２　筆者は、どうして今の女性は我慢をしなくなったと考えているか。

1　家事労働は女性の義務ではなく、男性も相応に分担するべきだという考え方が広がったから

2　人々が権利や義務について考えるようになり、女性も権利を主張できるようになったから

3　経済力をつけたので、亭主(ていしゅ)が稼ぐということをそんなに偉いこととは思わなくなったから

4　経済力がなくても、妻は夫に養われているという考えを持つ女性が少なくなったから

問３　筆者が家事労働を始めた理由は何か。

1　家事は夫婦で分担するものだという考えに共鳴したから

2　経済力がなくなり家事を分担せざるを得なくなったため

3　男性が台所に立ちたくなるような環境が整ってきたから

4　外での仕事を持つ妻の負担を多少なりとも軽減するため

問４　筆者は、家庭における夫婦の役割は何によって決まると考えているか。

1　それぞれの家の事情に沿った独自のやり方

2　家事は女の仕事だという伝統的な社会規範

3　世間全体に受け入れられるべき価値基準

4　家事は男女が平等に分担すべきだという考え方

（3）桜が終わり、さまざまな春の花がいっせいに咲きそろうころになると、少しばかり憂鬱(ゆううつ)になる。自分をもてあます。例年春が終わるまでは憂鬱に沈みこんで過ごすのだが、先日ちょっと①目を見開(注1)かされることがあった。

見開いてくれたのは、小学生の少年である。彼と私はときおり「世間話」をする仲だ。あるとき彼は、「あのね、おばちゃん。ぼくね、自分がへんな顔してるんで、いやだったんだ」と始めたのだ。

驚いた。彼を知ってから何年かになるが、そんなことを思っているとは、つゆ知らなかった。(注2)彼の顔を私はまじまじ眺めた。なるほど平凡な、これといった特徴のない顔である。へんな顔だちだろうか。(注3)わからない。子供らしさがかがやいている顔ではあるが。

「洗面所の鏡を見るたびにね、悲しかったの」。そうなの、と私は(　②　)に答えた。話がどう展開するのか、緊張していた。彼はごく真剣である。

「見るたびにへんな顔、って思ってた」

へんじゃないと思うけどなあ。私はさらに(　②　)に言った。

「いや、へんだった。へんなんで、あんまり鏡を見ないようにしてた」。うーん。

「そしたらね、一年前に引っ越した家の玄関に大きな鏡があったの」。うん。

「毎日何回も、玄関で自分を見ることになるんだよ。③いやだった。ところがね、ぼく」。

そこで彼は照(注4)れて言葉をとぎらせた。ところが？

「そのうち自分の顔をへんじゃないと思うようになったんだ。けっこう可愛いって思うようになったんだよ」。そうかあ、そうなのかあ。よかったね。

「よかったよ」。彼は嬉しそうに頷いた。

でもなぜ、と私は聞いた。なぜ？

「あのね、毎回顔見るたびに、へんじゃない、へんじゃない、って自分に言い聞かせたんだ。そしたら、いつの間にか、へんじゃなくなったんだよ」。ふうん、と私はうなった。

「ずっとへんだったら、自分がかわいそうでしょ。だからね、ぼく、一生懸命言い聞かせたんだよ」。そう彼は話をしめくくったのである。

教えられてしまった(注5)。憂鬱な気分にひたりこんでいる自分が、恥ずかしかった。桜は散り、月日は過ぎ去る。無為(注6)にうつうつ(注7)していてかわいそうなのは、じつに自分自身なのであった。

（注１） 自分をもてあます：どうしていいかわからなくなる

（注２） つゆ知らない：少しも知らない

（注３） まじまじ：視線をそらさないでじっと

（注４） 照れる：恥ずかしそうな顔をする

（注５） しめくくる：話をまとめて終わる

（注６） 無為に：何もしないで

（注７） うつうつ：心がふさいで楽しくない様子

（川上弘美『なんとなくな日々』による）

問１ ①「目を見開かされること」とあるが、それはどんなことか。

1　鏡に映る自分の姿を見つめ直すことで、本当の自分のよさが見つけられたこと

2　憂鬱な気分は自分の気持ちの持ちようで変えられるものだということに、気づいたこと

3　少年と真剣に向き合わず、少年の顔の悩みに気づかなかったのをすまなく思ったこと

4　先日この少年と知り合いになったことで、それまでとは違う新しい自分を発見できたこと

問２ （　②　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　慎重　　2　冷淡　　3　愉快　　4　親切

問３　③「いやだった」とあるが、少年は何がいやだったのか。

1　大きな鏡がある家に引っ越したこと

2　毎日へんな顔の自分と向き合うこと

3　洗面所の鏡を見ることができなくなったこと

4　自分の顔がへんだと自分自身で認めること

問題 Ⅲ　次の(1)から(5)の文章を読んで、それぞれの問いに対する答えとして最も適当なものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

(1) 石油や石炭、天然ガスといった化石燃料を燃やせば、二酸化炭素が発生します。これが大気中に蓄積されると、地球が暖まると言われています。読者のみなさんならばご存知のことでしょうが、一般には思ったほど知られていないようです。

国立環境研究所の青柳みどりさんのチームが、全国の成人男女にアンケート調査を行ないました。「地球温暖化の影響でもっとも深刻なもの」についてあげてもらったところ、最も多かった回答が「オゾン層(注)の破壊」で59.6％でした。続いて首都圏在住の25歳以上の男女へのインタビュー調査をしたところ、多くの人たちが、こんどは逆にオゾン層破壊が温暖化の原因と考えていました。

このニュースは、環境問題の研究者や行政官にはかなりの衝撃をもって受け止められました。私自身もショックです。大多数の市民にとって、環境科学の壁は思った以上に厚く高いのかも知れません。

（藤倉良『環境問題の杞憂』による）

(注)　オゾン層：薄く地球全体を取り巻いている気体（O3）の層

【問い】　このニュースについて、筆者がショックを受けた最大の理由は何か。

1　地球温暖化とオゾン層の破壊は関係ないと考える人が多かったから
2　二酸化炭素はオゾン層の破壊には関係しないと考える人が多かったから
3　オゾン層の破壊の原因と結果を正確に理解している人が多かったから
4　地球温暖化の原因と結果を誤って理解している人が多かったから

（2）「緑を、」とポスターに刷られたスローガン(注1)の、簡潔きわまりない一語のために、迷わずその女性立候補(りっこうほ)者に、一票を投じたことがある。もっと正確に言えば、彼女を選ぶことを私に決定づけさせたのは、上の「緑を」ではなく、下に付けられた「、」のほうなのであった。

語句の構成上からも、読点(とうてん)(注3)は、あとに続く言葉のあるしるし。私どもが推進しようとしている緑化(りょっか)運動は目下進行中。目標達成まで頑張りますので何卒(なにとぞ)ご支援を――、と余白(よはく)に彼女は語らせているのである。一見言葉足らずに見せて人目を引く、それこそが彼女の〈政策〉であったのかも知れないのだが。

（新川和江「句読点」「こころの風景」朝日新聞二〇〇六年九月二五日付夕刊による）

（注１） スローガン：標語

（注２） 立候補(りっこうほ)：ここでは、選挙に出ること

（注３） 読点(とうてん)：「、」のこと

【問い】 筆者がこの女性立候補(りっこうほ)者を迷わず選んだ最大の理由はどれか。

1 ポスターの読点(とうてん)の使い方の巧みさに注目したから

2 ポスターの読点の使い方が大変評判がよかったから

3 緑化(りょっか)運動には筆者も支援の必要を感じていたから

4 緑化運動の推進を達成すべき目標にしていたから

（3）人々はよく、何か問題があると、その原因をひとつのものに代表させて集中攻撃し、それによって問題全てが解決したかのように思い込むことがある。今その格好の例となっているのがレジ袋だ。スーパーやコンビニエンスストアでお金を払うとき、買ったものを入れてくれるビニール袋のことである。地球温暖化が進む現在、このレジ袋はごみになりやすいとして、商店は消費量を減らすことが義務づけられた。だが、そのほかのプラスチックについては何も言われない。ペットボトルも食品を包む透明なラップもジュースを飲むストローもこれまでどおりである。レジ袋を断った人が大量のペットボトル飲料を買っているのを見るにつけ、何のためのレジ袋規制なのか分からなくなる。

【問い】　筆者の言いたいことは次のどれか。

1　レジ袋規制だけを促進しても、プラスチック全体の消費量はそう減らないだろう。

2　レジ袋規制は無駄なことであるので、すぐやめるに越したことはない。

3　レジ袋規制で他のプラスチック製品にもその効果が波及する可能性がある。

4　レジ袋規制によって地球温暖化の深刻さが認識されるのは歓迎すべきことだ。

（4）人間は、本能的に何らかの刺激(注1)を求めるのではないだろうか。その刺激のひとつは味であり、また、味以外のものもある。今、この刺激ということばを、人間の嗜好(しこう)といったものにいいかえてみると興味ある事実がいくつも出てくる。

さて、嗜好品というものを考えてみよう。嗜好品はかならず刺激というものをもっているのが発見できるだろう。味では、塩味や甘味はつねにないとどうにもならない味であるが、苦味や酸味は、ときどきそれを味わうことで、刺激として感じる。香辛料のピリリとした辛さなども刺激のひとつだ。アルコール飲料も同じである。

また、こういった嗜好品をたしなむ(注2)ばあい、その刺激が強いほど満足感がえられる。そしてその刺激が、生きることのひとつの大きな刺激となってはね返ってくる。酒がなくて何が人生ぞなどということばは、あきらかに酒という嗜好品が、生きることへの（　　）を与えているひとつの証拠とみてもよいだろう。

（河野友美『味と文化』による）

（注１） 何らかの：何かの

（注２） ～をたしなむ：～が好きで親しむ

【問い】　（　　）に入る最も適当な言葉はどれか。

1　興味　　2　嗜好(しこう)　　3　刺激　　4　満足感

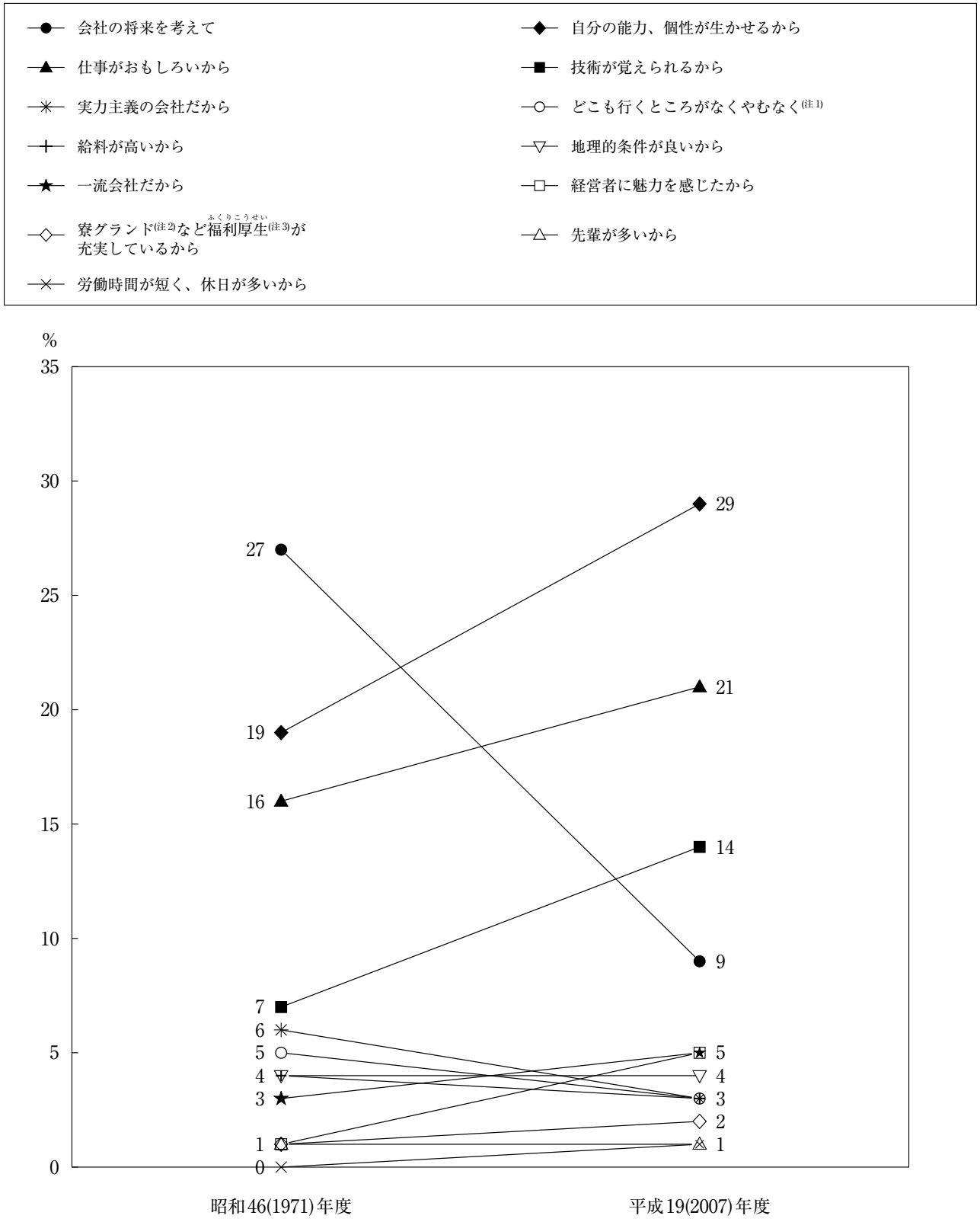
（5）下のグラフは、1971年度と2007年度に行われた調査での「会社を選ぶときどんなことを最も重視したか」という質問に対する新入社員の答えをまとめたものである。

（グラフは社会経済生産性本部と日本経済青年協議会「平成19年度新入社員（3,849人）の『働くことの意識』調査結果」〈http://activity.jpc-sed.or.jp/detail/lrw/activity000821/attached.pdf〉2007.7.14取得による）

（注１） やむなく：しかたなく

（注２） グランド：運動場

（注３） 福利厚生(ふくりこうせい)：会社が社員と家族の生活を豊かにするために作った制度や設備など


会社の将来を考えて
自分の能力、個性が生かせるから
仕事がおもしろいから
技術が覚えられるから
実力主義の会社だから
どこも行くところがなくやむなく(注1)
給料が高いから
地理的条件が良いから
一流会社だから
経営者に魅力を感じたから
寮グランド(注2)など福利厚生(注3)が充実しているから
先輩が多いから
労働時間が短く、休日が多いから
%
35
30
25
20
15
10
5
0
27
19
16
7
6
5
4
3
1
0
29
21
14
9
5
4
3
2
1
昭和46(1971)年度
平成19(2007)年度

【問い】　グラフの説明として最も適当なものはどれか。

1　この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が最も大きく減少している。一方、最も増加しているのは「技術が覚えられるから」である。また、次に伸びが目立っているのは「自分の能力、個性が生かせるから」である。

2　この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が最も大きく減少している。一方、最も増加しているのは「自分の能力、個性が生かせるから」である。また、次に伸びが目立っているのは「技術が覚えられるから」である。

3　この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が3分の1に減少している。一方、「自分の能力、個性が生かせるから」は最も大きく増加している。また、次に伸びが目立っているのは「仕事がおもしろいから」である。

4　この間の変化を見ると、「会社の将来を考えて」が3分の1に減少している。一方、「自分の能力、個性が生かせるから」は最も大きく増加している。また、次に伸びが目立っているのは「一流会社だから」である。

問題 Ⅳ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　近くに用事があったものですから、先日のお礼＿＿＿伺いました。

1　につき　　2　ゆえに　　3　かたがた　　4　と言わず

(2)　医者は手術の間、一瞬＿＿＿気が抜けない。

1　たりとも　　2　どころか　　3　のみか　　4　までも

(3)　国民の生活をよりよいものにすること、それが政治家＿＿＿者の使命だと考えます。

1　ある　　2　する　　3　たる　　4　よる

(4)　彼は自らのつらい体験を涙＿＿＿語った。

1　がちで　　2　ながらに　　3　におよんで　　4　はもとより

(5)　友人の家でごちそうになった料理は、家庭料理＿＿＿素朴な味わいだった。

1　めく　　2　ごとき　　3　ばかりか　　4　ならではの

(6)　どのような困難な状況に＿＿＿、あきらめてはいけない。

1　つけて　　2　とって　　3　あっても　　4　かけても

(7)　彼女の働きがあれば＿＿＿、計画が順調に進んでいるのだ。

1　こそ　　2　しか　　3　すら　　4　だけ

(8)　借金＿＿＿遊びに行ったと聞いて、あきれてしまった。

1　してまで　　2　せずとも　　3　にからんで　　4　とあいまって

(9)　小学生＿＿＿、大学生がこんな簡単な計算ができないなんて信じられない。

1　ともなれば　　2　にさきがけて

3　でもしかたなく　　4　ならいざしらず

(10)　悲惨な子どもたちの姿を見たの＿＿＿、この支援活動を始めたのです。

1　に関して　　2　を除いて　　3　もかまわず　　4　がきっかけで

(11)　検査の結果が＿＿＿次第、ご連絡いたします。

1　わかる　　2　わかり　　3　わかって　　4　わかった

(12)　信用というものは、いったん失った＿＿＿＿、取り戻すのは難しい。

1　末に　　2　が最後　　3　ものの　　4　とみるや

(13)　うそをつくことは、どんな理由＿＿＿＿許されない。

1　だに　　2　であれ　　3　ならば　　4　にてらし

(14)　仕事がたまっていて、連休と＿＿＿＿毎日出社しなければならない。

1　いえども　　2　いえれば

3　いうならまだしも　　4　いったからには

(15)　普段はおとなしい彼があんなに怒る＿＿＿＿、よほどひどいことを言われたのだろう。

1　とは　　2　ときたら　　3　といっては　　4　とばかりに

(16)　電車の窓から外を見る＿＿＿＿見ていたら、高校時代の同級生の姿が目に入った。

1　かたわら　　2　ともなく　　3　につれて　　4　のみならず

(17)　新聞には、事実＿＿＿＿、正確な情報を提供してほしい。

1　なりに　　2　とあって　　3　に即して　　4　をよそに

(18)　その会社は、先週発表した新型車を＿＿＿＿、次々と新しい車を発表するそうだ。

1　おいて　　2　もって　　3　かぎりに　　4　かわきりに

(19)　夢を＿＿＿＿、日々努力している。

1　かなえるまいと　　2　かなえるまじく

3　かなえんがため　　4　かなえないものを

(20)　応援の＿＿＿＿、私のクラスのチームは一勝もできなかった。

1　反面　　2　おりから　　3　こととて　　4　かいもなく

問題 V　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　自分の作品がこんなに大勢の人に評価されるとは、本当にうれしい＿＿＿。

1　きりだ　　2　かぎりだ　　3　ほどだ　　4　ぐらいだ

(2)　その会社の業績が上がったのは、経営改革の成果と＿＿＿。

1　言わずじまいだ　　2　言ってやまない

3　言ってたまらない　　4　言えよう

(3)　彼女は、自分の考えをはっきり主張する点はいいのだが、少し頑固な＿＿＿。

1　ところがある　　2　はずがない

3　きざしがある　　4　わけがない

(4)　どんなに美しい花でも、散ってしまえば＿＿＿。

1　これまでだ　　2　それまでだ

3　それからだ　　4　これからだ

(5)　このまま海面の上昇が続けば、これらの島々が海の中に沈んでしまうことも＿＿＿。

1　ありうる　　2　ありえない　　3　しうる　　4　しえない

(6)　異文化間の交流には、相手を理解しようという姿勢＿＿＿。

1　をものともしない　　2　のままだ

3　に基づいている　　4　が欠かせない

(7)　その器具は確かに便利そうだが、なくても困らないのだから、わざわざ買う＿＿＿。

1　ところだ　　2　ことだ

3　どころではない　　4　ことはない

(8)　先生、最近あまりお会いしていませんが、お元気でお過ごしのこと＿＿＿。

1　としか存じません　　2　を存じます

3　と存じます　　4　しか存じません

(9)　私の店はまだ有名ではないが、いずれは皆に「この店の料理は最高だ」と＿＿＿。

1　言ったとおりだ　　2　言うはずもない

3　言わせてみせる　　4　言いようもない

(10)　「まあ、なんてきれいな夕焼けだ＿＿＿。」

1　こと　　2　かしら

3　もの　　4　かな

問題 Ⅵ　次の文の＿＿＿にはどんな言葉を入れたらよいか。1・2・3・4 から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1)　この燃料は、空気も汚さないし、費用も安く抑えられる。本当にいいこと＿＿＿。

1　だけではすまない　　2　きわまる

3　ずくめだ　　4　にとどまらない

(2)　そんな遠い店まで買いに行く＿＿＿よ。電話で注文すればすぐ届くんだから。

1　始末だ　　2　よりほかない

3　のも同然だ　　4　までもない

(3)　学校を休んでいる友達に何度も電話をしたが通じない。何かあったのか、＿＿＿。

1　心配してはいけない　　2　心配でならない

3　心配でもない　　4　心配しかねない

(4)　現代は物質的に豊かになっている。だから、ものの大切さがわからない若者が＿＿＿と思う。

1　増えてもやむを得ない　　2　増えてはかなわない

3　増えるべきだ　　4　増えるものか

(5)　石油の価格が上がったために、我が社の業績は下がった。しかし、＿＿＿だけまだましだ。

1　利益にならない　　2　損失が出ない

3　給料がもらえない　　4　仕事ができない